

学校名 草加市立両新田小学校
所在地 草加市両新田西町55番地
電話 048-927-8411

1 本校の概要

本校は草加市の南西部に位置し、今年開校40周年を迎えた。学級数16、児童数417名の中規模校である。学校教育目標に「進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子」を掲げ、令和2年度に市の研究委嘱を受け、教職員が読書活動の推進に力を入れ、日々の教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

学校全体で、本の貸出冊数2万冊を目標に、「読書を楽しみ、自らの人生を豊かにできる児童の育成」を目指し、子供たちが積極的に読書できる環境づくりを推進している。

ア 朝読書・読み聞かせ

毎週木曜日の業前活動では、10分間全校一斉の朝読書に取り組んでいる。また、毎月第3木曜日の業前活動に、本校保護者等による図書ボランティアの読み聞かせを行っており、子供たちは毎回楽しみにしている。

イ 読書タワー・多読者賞の取組

各学級の個人借り・クラス借りの合計冊数の視覚化を図り、読書タワーを掲示している。各学級で50冊の貸出しごとに、1段ずつタワーを積み上げ、25段でタワーが完成する。タワーの完成によって、年間で1学級1,250冊の貸出達成になる。併せて、学年の目標に応じた読書達成者の氏名を、中央階段踊り場にある読書の木に桜の花びらとして掲示し、全校児童の読書意欲を喚起している。



ウ 図書委員による常時活動

図書委員によるおすすめの本のPOPや、学年に適した本の紹介、読書月間におけるスタンプラリーやビンゴ、図書便りや読書郵便等の活動を通して、読書意欲を喚起している。



エ 辞書引きコーナーの設置

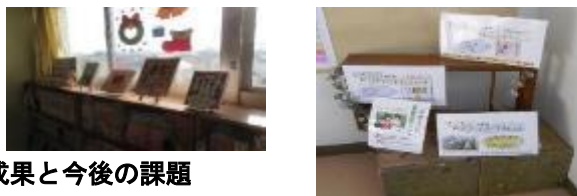
図書館前に、国語辞典・漢字辞典を常設し、使用方法を掲示している。普段から、国語辞典や漢字辞典を使うことに親しませ、楽しみながら辞書引きができる環境を整備している。

オ 朝学習における新聞記事の読み取り

業前活動のチャレンジタイムの時間に国語科と関連させ、新聞記事の読み取りを行い、自分の考えを100字程度でまとめることに取り組み、学力向上に努めている。

カ 他教科と関連した図書年間指導計画の作成

各教科で、新学習指導要領に基づき、図書館や図書資料を活用できそうな単元を抽出し学校図書館教育の年間指導計画を作成している。また、それを活用し、児童の発達段階に応じた教職員によるおすすめの本の掲示を行っている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に努め、図書館の使用に制限をかけたが、昨年度よりも貸出冊数を増加させることができた。

(2) 課題

本の貸出冊数は増えているが、発達段階に応じた読書は十分ではない。児童に対して、今後も幅広い読書の呼びかけを行っていく。

(3) おわりに

今後も、教員と児童が一緒になって図書館づくりを行い、自分達が読みたい本が揃う、魅力ある図書館づくりに努めていきたい。